岡山県中小企業診断士会会報

地域と企業の発展のために、私ども中小企業診断士をご活用ください。

2012 年 12 月 15 日発行
第 2 号

トピックス:

- 無料経営相談
- 日本政策金融公庫と交流会開催
- 診断実務従事事業 奉還町商店街診断

研究会活動:

循環ビジネス研究会 3
地域活性化研究会 4
企業再生研究会 4
知的探訪研究会 4

その他:

会員投稿記事 5
各機関よりお知らせ 6
各事業報告等 7

“経営コンサルタント”と“中小企業診断士”の違いは何か

会長　額田信一

＜はじめに＞

「“ちいさな企業”未来会議」での指摘のあと、中小企業庁は「“ちいさな企業”未来部会」を開き、法改正を含めた中小企業支援政策の見直しを進めています。

そこで、本稿では、あらためて中小企業診断士の位置づけについて書かせていただきたいと存じます。

＜中小企業政策推進者としての診断士＞

中小企業診断士制度は、昭和27（1952）年に公的な中小企業指導事業の協力者を「中小企業診断員」として登録することから始まりました。その後、中小企業指導法による法制化を経て、昭和 44（1969）年に「中小企業診断士」と改称されて現在に至っています。

民間の経営コンサルタントからは、報酬の低さや専門性の低さを指摘されますが、国の中小企業政策の一端を担っていることは、診断士の大きな特徴です。

＜経営コンサルタントとしての診断士＞

平成 12（2000）年に中小企業指導法が中小企業支援法に改正された時、中小企業診断士の位置づけは、「国や都道府県が行う中小企業指導事業に協力する者」から「中小企業の経営診断の業務に従事する者」に変更されました。すなわち、公的診断の担当者という枠が外れ、民間の経営コンサルタントと同じ土俵で仕事をすることになりました。

特に資格を持っていない民間の経営コンサルタントに比べると、経営に関する一定水準以上の基礎的素養を備えているという安心感が、診断士の特徴です。

＜会社員の自己啓発としての診断士＞

中小企業診断士の資格を取得した後、独立開業せずに会社に属したままの、いわゆる「企業内診断士」の方々も大勢いらっしゃいます。

お隣の広島県には、「企業内診断士診断能力向上研究会（略称：企業内診断士の会）」という会があり、企業内診断士の方々が、「研鑽」、「貢献」、「連携」を目的に幅広い活動を行っておられます。[1]

このように、同じ資格を持った人達が、企業の壁を超えて交流することができるのも、単なる民間の経営コンサルタントにはない特徴です。

＜診断士ならではの視点＞

以上のように、民間の経営コンサルタントと中小企業診断士には三つの大きな違いがあります。

いまひとつ、中小企業診断士ならではの視点は何かというと、それは「地域振興」という視点でしょう。民間の経営コンサルタントは、企業の利益増加には貢献しても、地域経済にまでは目が向きません。

その点、中小企業診断士は個別企業の経営改善から街づくり計画の策定まで、広く地域社会の活性化に関われる、広い視野と汎用性のある能力を持っています。

＜おわりに＞

中小企業憲章の基本理念にあるように、「中小企業は、地域の経済やくらしを支え、牽引する」存在です。そのような中小企業の経営基盤を強化する診断士の仕事には、「中小企業の支援を通じて、地域の経済やくらしを支え、牽引する」という重要な意義があります。

このような使命を遂行するためにも、岡山県中小企業診断士会では、会員の相互啓発、能力向上の機会をより一層増やして行きたいと存じます。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

[1] 広島県中小企業診断協会『診断ひろしま』第 66 号、平成 24 年 10 月 15 日参照

◆理論政策更新研修開催◆

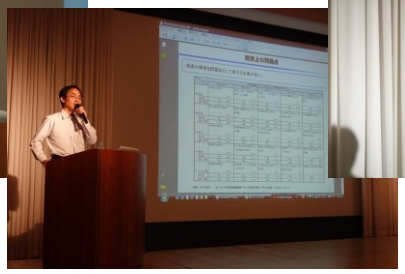
今年度の理論政策更新研修は9月22日（土）に岡山コンベンションセンターママカリフォーラムにて実施され、159人が参加しました。

まずは中国経済産業局の閑田英敬様から最新の中小企業施策情報についてご説明いただきました。

続いて就実大学非常勤講師の上岡美保子様よりスウェーデンの高福祉・高税金政策や国民性について講義をいただきました。

日頃接することのない情報に触れ、グローバルな視点を養うことができました。

会員　木野内俊典



◆平成24年度中国ブロック事務連絡会議◆

日時：2012 年 11 月 1 日(木)　13:00～　　会場：ホテルグランヴィア広島

中小企業診断協会の中国ブロック会議が開催されました。中国 5 県の各県会から代表が出席し、当診断士会からは額田会長と理事の私、児玉が出席してまいりました。診断協会本部からも福田会長、水元専務理事がご出席されました。

会議では、今後の診断士のあり方、国の事業方針、目前の課題等について共有し、中国ブロックとして一致協力して解決、改善にあたっていくことを確認して会議は閉会となり、その後は 5 県の県会メンバーが懇親を深めました。

このブロック会議の会場は 5 県持ち回りで開催されており、来年が岡山県での開催となる予定です。当診断士会がホスト役を果たすことになります。岡山から何か新しい画期的メッセージを発信していけるよう、今からしっかり感度を高め、実績も積み上げていきたいと思います。

理事　児玉健治

◆㈱日本政策金融公庫岡山支店と交流会開催◆

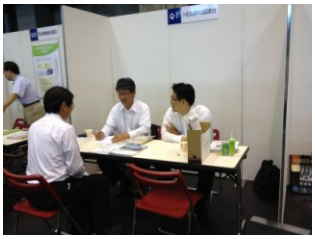
日時：2012 年 8 月 9 日(木)　16:30～　　会場：(株)日本政策金融公庫岡山支店

当診断士会は、㈱日本政策金融公庫岡山、倉敷、津山の 3 支店と、今年 6 月 8 日、県内の中小企業支援で「業務連携・協力に関する覚書」を締結しておりますが、実際の連携・協力を始めていくために、第1回の交流会を開催しました。双方の業務についての理解を深め、中小企業支援においてどのような具体的な協働を行うことができるか、意見交換を行うとともに、具体的なアイディアも多く出されました。

この交流会で出たアイディアがきっかけとなって、9 月より月に 1 回、第 2 火曜日に日本政策金融公庫岡山支店で、「経営サポート相談会」を定期開催することとなりました。診断士会との協働企画の第 1 弾です。診断士会から相談員を派遣することとなっています。既に 9 月には 2 件の相談を受け、強い手ごたえを感じているところです。連携の第一歩を踏み出すことができました。さらに今後両者が協働して岡山県の中小企業支援をさらに強力に推し進めていきたいと思います。

理事　児玉健治

◆無料相談会開催◆



９月１２日（水）、コンベックスで行われた「しんきん合同ビジネス交流会」のブースに相談員２名を派遣し無料相談を行いました。

交流会は第 8 回を数え382の参加企業ブースに3,400名の来場者と過去最大、当ブースでも販路開拓や財務課題の相談など、計10社の相談に対応しました。

診断士会では他にも創業相談会や士業合同無料相談会などにも相談員を派遣し地元企業の応援と認知度アップを図っています。

会員　松田眞司

◆診断実務従事事業◆

診断実務従事事業は 3 年前より「商店街活性化の新しい切り口」をテーマに取り組んできました。今年は企業内診断士７名が参加して岡山市奉還町商店街を対象に 8 月 25 日（土）よりスタート。9～10 月には全組合員に意識調査アンケート実施、11 月 19 日（月）には青年部の若手メンバーと 10 年スパンでの将来戦略について熱い議論を交わしました。2014 年 11 月に延床 8 万 8 千㎡のイオン出店を控え、岡山駅西口エリア全体としての方向性や商店個々の思惑も錯綜、かなりの緊張ムードを感じます。本事業の検討内容を基に 2 月頃シンポジウム形式の発表会を行う計画ですのでその節はお楽しみに。

会員　安原朋彦

◆愛媛県中小企業診断士協会　岡山県視察団との交流会◆

平成 24 年 10 月 28 日から 29 日にかけて、東矢会長はじめ愛媛県中小企業診断士協会の 7 名の皆様が岡山県へ視察に来られました。当会の加藤珪一相談役のアレンジで、一日目は倉敷市児島の「ジーンズ・ストリート」を見学、二日目はカバヤ食品さんの工場を見学されました。

なお、一日目の昼食会には当会から加藤相談役と黒江理事、それに私額田の三名も参加し、愛媛県協会の皆様と和やかに情報交換を行いました。

これからは、診断士もより一層の「広域化」と「専門化」が必要な時代になりそうです。今後とも、近隣の県協会との相互交流を進めて行きたいと思います。

会長　額田信一

研究会活動

≪≪循環ビジネス研究会≫≫≫≫≫

11 月 8 日(木)に岡山市東区草ヶ部にある「くろがね産業(株)」に工場見学に訪問しました。

くろがね産業(株)はゴムのリサイクルにおいて岡山県でトップ企業です。

ゴムを細かく裁断しチップ状態にします。人工芝素材(再生ゴムチップ)と再生ゴムブロックにして販売しています。現在は人工芝素材が好調です。人工芝を単にひくのではなく、芝の間にゴムチップを入れることで、選手を怪我から守っています。

最近、製造業が海外に移転するため、再生用のゴムの入手が年々難しくなる問題を抱えています。

平成 23 年度の経営革新計画では、人工芝の施工で認定を受けています。

なお、循環ビジネス研究会では、岡山県の地場産業の研究事業を行っています。

会員　藤原敬明

≪≪地域活性化研究会≫≫≫≫≫

本研究会は、地域活性化を主題として地域経済や中小企業の振興等、中小企業診断士として支援、もしくは提言できるテーマを選定し、調査研究活動を行っています。現在 4 名（安藤、小川、太田、松本）が本研究会の会員です。

昨年度は、調査研究事業「中小企業の採用活動と大学生の就職意識に関する調査研究」を行い、一定の研究成果を得ることが出来ました。

今年度より新たな視点での調査研究活動を行うため、7 月・8 月・10 月に研究会を行い、新たなテーマの選定の協議を行いました。

協議の結果、次年度の研究テーマを、「優れた中小企業に関する調査研究（仮称）」とし、事前調査として、平成 25 年 1 月に視察を行う予定としています。

平成 17 年に発足してから現在まで、会員の本研究会への積極的な参画のもと、地域活性化に寄与できる調査研究活動を継続しています。

本研究会にご興味・ご関心ある方は、是非お声掛けください。

会員　松本直也

≪≪企業再生研究会≫≫≫≫≫

当研究会では、平成２４年度「第２回オープン勉強会」を１１月１０日（土）にサンピーチOKAYAMAで実施しました。テーマは大阪府中小企業診断協会の田中裕司氏による「期限切れ迫る金融円滑化法の出口戦略」でした。今回の参加者はいつもより少なめの１８名でしたが、初めて公認会計士、税理士の方にもご参加頂きました。

内容は、出口戦略支援に関して外科的治療と内科的治療に分けて、事例中心にお話し頂きました。主となる金融交渉につきましては、奇策はなく金融機関が納得する実抜計画の策定とその取組みに尽きるとのことでした。特にP／L改善につながる内科的治療は、ランチェスター法則の弱者戦略である「No１戦略」による助言が、経営者の納得感やモチベーションアップに効果が高いとのことでした。

今回は、岡山自由業団体連絡協議会の設立趣旨に則り、診断士会窓口を通じて全士業に案内を試みました。反応はほとんどありませんでしたが、よい経験となりました。また、クローズ勉強会が停滞しており、来年度は資質向上に向けてその充実が課題であると考えております。

会員　渡辺昌平

≪≪知的探訪研究会≫≫≫≫≫

平成２２年度に発足した「知的探訪研究会」は3年目を迎え。本年度訪問予定目標１０先に対して、８先訪問済み、及び予定日確定の状況です。ちなみに本年度訪問した数社の名前を挙げると、玩具菓子メーカーの「カバヤ食品」、マシニングセンターの 「安田工業」、畳縁の日本一「高田織物」、マッシュルームのトップメーカー「三蔵農林」などです。

２５年度も１０先の訪問を予定して、すでに3先確定しています。（訪問日は未定）見学に当たり、企業内診断士の方が参加しやすいように、訪問日の半数は土曜日、祭日に設定するようにしています。

当研究会は会員組織であるため、参加に当たって会員登録を行った人にだけ、見学情報を提供しています。ぜひ研究会にご参加ください。

また訪問後「感想文」および見学先企業に対する「改善提言書」を作成してもらっていますがそれほど負担に考えるものではありません。

会員　加藤珪一

高田織物訪問

安田工業訪問

∞∞会員投稿∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

◆消費税率が上がる◆

中小企業への影響は大きいだろう。黒字法人割合が 25%で推移している昨今、一番大きな税負担は消費税という企業も多い。
消費税の納税額は、受け取った消費税から支払った消費税を差し引いた額である。会社の収支がバランスしていれば、(支払う給料・社保に消費税はかからないから)人件費×消費税率がその会社の消費税額に近い額になる。
税率引き上げ後には人件費の 10%！社保負担もあわせ、人を雇いにくい時代になるだろう。
～～～

各機関よりお知らせ！！

◇岡山県中小企業支援ネットワークについて（岡山県信用保証協会）◇

去る、平成24年10月26日、中国経済産業局、岡山財務事務所、岡山県経営支援課、再生支援協議会、県産業振興財団、商工会議所等支援機関、地域金融機関、信用保証協会による第1回岡山県中小企業支援ネットワーク会議を開催しました。

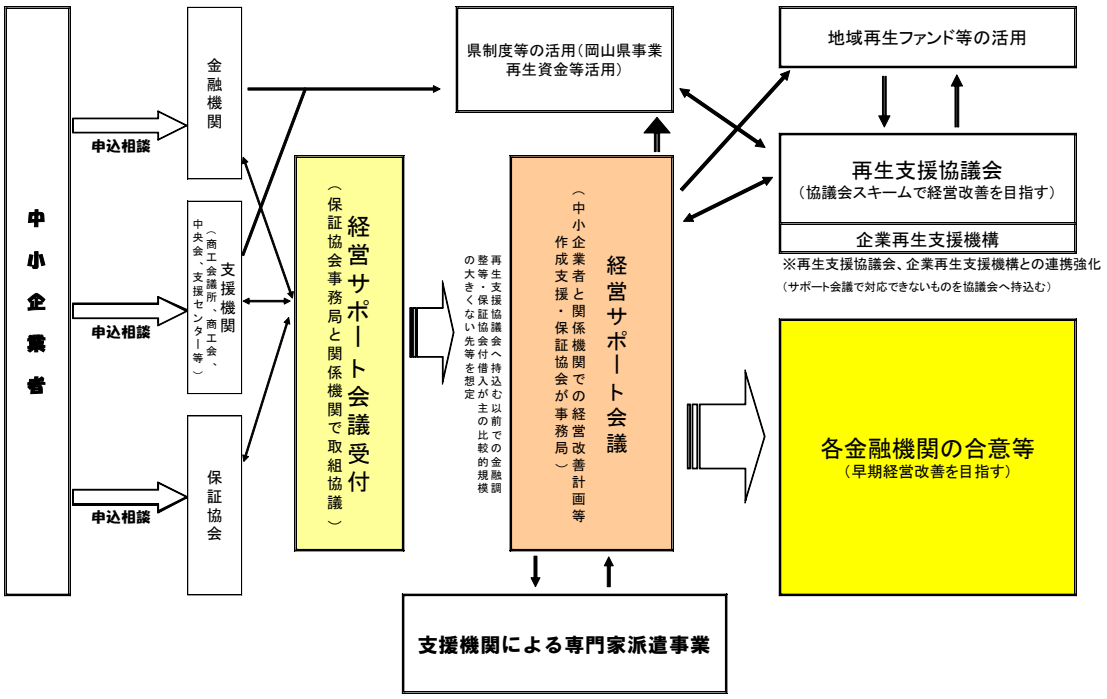
平成24年4月20日に内閣府・金融庁・中小企業庁より中小企業金融円滑化法の最終延長を踏まえ、中小企業の経営改善・事業再生の促進等を図るための政策パッケージが取り纏められ、その中で地域金融機関、中小企業支援機関、行政機関等をメンバーとして信用保証協会が事務局を担当する「中小企業支援ネットワーク会議」の創設により、中小企業の経営改善・事業再生支援の環境整備を図っていくことになりました。

岡山では、ネットワーク会議の下部組織で個別企業の経営改善等をサポートする「経営サポート会議」の運営内容に工夫を凝らし、中小企業再生を支援していく方針です。

多くの支援機関、金融機関や専門家（中小企業診断士、税理士等）の皆様と連携し、ノウハウも蓄積しながらしっかりとしたネットワークを構築してゆく所存ですので皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員　井原英二

経営サポート会議スキーム図



◇岡山県産業労働部経営支援課◇

来年 3 月末に中小企業金融円滑化法が期限切れを迎え、倒産増加が懸念されています。
県内では、地元金融機関等が出資した「おかやま企業再生ファンド」の設立や「岡山県中小企業再生支援協議会」の体制強化、また、多方面の関係機関が情報共有する「岡山県中小企業支援ネットワーク会議」の構築などの取組が進んでいます。

岡山県としても、ポスト円滑化法に向け、制度融資の柔軟かつきめ細かな対応に努めるなど、将来展望が描ける企業再生につなげてまいります。

交流プラザ会員　鈴鹿和彦

◇おかやま信用金庫営業支援部◇

おかやま信用金庫は、皆さまのあたたかいご支援により、平成 25 年 4 月 2 日に創立 100 周年を迎えます。当金庫は、地元の中小企業及び個人のお客様のための協同組織金融機関であり、お客様のニーズにお応えできるよう、日々活動を行っています。

ビジネス交流会の開催や若手経営者の会「おかやまＰＲＯＤＵＣＥ」の運営等、地元事業者様の経営上の課題を解決するための取組みを積極的に行っておりますので、お気軽にご相談ください。

おかやま信用金庫　営業支援部
TEL 086-223-7672

診断士フォーラム開催

診断士フォーラムは、岡山県中小企業診断士会の会員の皆様に研鑽の場、そして、人脈づくりの場として利用していただく為のものです。フォーラムで発表したいテーマをお持ちの方や会員同士の交流を図りたい皆様方の参加をお待ちしております。（開催日時は第 2 日曜日の 9 時 30 分～12 時）

毎月第2日曜日に開催している診断士フォーラム。

みなさまのご参加をお待ちしております。

【フォーラム予定】
12 月 9 日
H25 年 1 月 13 日
2 月 10 日、3 月 10 日
4 月 14 日

8 月 5 日

講師：会員　渡辺昌平 氏

テーマ：営業のはなしアレコレ

１９８２年に、当時創業した富士ゼロックス（株）と（株）天満屋の合弁販売会社に1期生として入社し、退職するまでの約30年間そのほとんどを営業畑で過ごしてきました。もともと友人達からは営業なんてお前は向いていないと断言されており、そんな営業マン生活の中で得たノウハウや営業技術、エピソードなどをご紹介していただきました。

10 月 14 日

講師：有限会社 NAP

代表取締役　河合　誠　氏

テーマ：私の経営革新とこだわりのモノ作り！

昭和 47 年4月 14 日生まれの 40 歳。経営革新計画の承認後、3年間で売上高3倍を達成！同社で生み出される革製品は、国内外の大手メーカー、バイヤーから注目されています。今回は、これまで 2 回の経営革新承認を受けた経緯だけでなく、常に岡山から最先端の革製品を世界に発信し続ける！河合社長の生きざまを聞かせていただきました。

11 月 11 日

講師：山陽新聞経済部

記者　有國　由花　氏

テーマ：マスコミから見たパブリシティのポイント

マスコミを利用したパブリシティは、企業にとって、販路拡大や知名度アップにつながる有効な手段です。しかし、実際にどのように情報を伝えればいいのか、どんな内容ならニュースになるのかについて、知る機会は少ないのではないでしょうか。地元紙の記者、大学の広報担当者として、取材をする側とされる側に立った経験から、報道の対象となるためのポイントについてお伝えし、理解を深めていただきました。

中国・四国エリア合同研修会

◆2012 年 10 月 21 日(日)
　13:00～17:00
◆会場:高松シンボルタワー棟 4 階
　　eとぴあ・かがわ

すっかり秋の恒例行事となりました中小企業診断士「中国・四国エリア合同研修会」が 10 月 21 日(日)に、今年は香川県にて開催されました。

岡山県と香川県、2県の診断士会の合同研修会として始まった当会ですが、一昨年あたりから、岡山、香川だけでなく、中国、四国の各県の県にも広く呼び掛けてご参加をいただくようになりました。

今年は、徳島、愛媛、山口県からもご参加をいただき、岡山、香川、そしてゲスト（企業経営者）も含めて全28名の参加となりました。

研修会では、ケーススタディが行われたのですが、実際の経営者（ゲスト）にお越しいただき、経営者自ら企業概要および経営相談内容をご説明された後、研修参加者が経営をよくしていく方向についてグループで検討して、代表者が経営者に提案を行うという形のものでした。そして、出された提案に対して、経営者としてのコメント、感想もその場でいただくという極めて実践的な内容のものとなりました。

研修終了後の懇親会では、経営者の方も含めて、高松港が見えるダイニングバーで、中国・四国エリアの診断士が友好を深めました。相互に刺激を与え合える貴重な場として、定着してきたと確信しています。

来年は岡山県で開催される予定です。しっかりと企画を練ってまいります。

理事　児玉健治

海外視察

◆今年度は中止となりました。

士業連携フォーラム開催

9月1日に岡山自由業団体連絡協議会の主催で、初めて士業連携フォーラムが岡山プラザホテルで開催されました。

当協議会は、私共診断士会をはじめ岡山県下の弁護士、司法書士、土地家屋調査士、行政書士、公認会計士、税理士、弁理士、不動産鑑定士及び社会保険労務士の10士業が加盟しております。

顧客サービスのさらなる充実のためには、自己の得意分野の提供にとどまらず、それ以外の分野も含めた、サービスを総合的に提供することが必要との考えから、他士業との親睦・連携を継続的に図ることを目的とした取り組みです。

フォーラムは、今年度幹事を務める弁護士会の火矢会長の挨拶で開会し、第1部の勉強会は各士業がテーマを決め発表を行いました。診断士会からは額田会長が「中小企業の経営再建と専門家の役割」について発表されました。第2部は懇親会で士業の垣根を越えた情報交換、名刺交換が行われました。診断士会から22名の参加者を含め、総勢300名を超えるフォーラムとなり盛り上がりました。

私共も他士業との親睦・連携を通して、新たな顧客サービスを創造して行きたいものです。

理事　黒江正行

一般社団法人
岡山県中小企業診断士会

〒700-0907
住所　岡山市北区下石井 2-1-10

TEL:086－225－4552

FAX:086－225－4554

E-MAIL:osmeca@optic.or.jp

Web サイト
URL:**www.optic.or.jp/o-smeca**

§§今後の予定§§

◆1月フォーラム＆新年会
平成25年1月13日（日）
午後3時～7時
ピュアリティまきび
講師　クラブン株式会社
　　代表取締役　伊澤正信 氏

◆平成25年度理論政策更新研修
平成25年9月28日（土）
岡山コンベンションセンター
ママカリフォーラム

倉敷美観地区

§§書籍のご紹介§§

少壮の日本人女性研究者が、ハーバード大学で日本史を大人気講座に変貌させた。歴史の授業に映画作りや「タイムトラベル」などの斬新な手法を導入。著者の熱に感化され、学生たちはいつしか「レディ・サムライ」の世界にのめり込んでいく――。「日本史は書き換えられなければならない」という強い使命感のもと東部の有名大学に乗り込み、「思い出に残る教授」賞にも選ばれた著者が記す「若き歴史学者のアメリカ」。
（新潮社より）
～～～